

## 2022年度 認定こども園クオラキッズ 自己評価結果

園の評価

園の運営についてできているか評価して下さい。

自己評価(%)

1.保育教育理念・保育観		4	3	2	1	0
1	保育者ひとりひとりが保育教育理念・保育方針を理解している	60	30	10	0	0
2	保育教育方針を理解して、保育教育計画が立てられている	70	25	5	0	0
3	常に保育教育方針や保育観を確認できるような機会を作っている	65	25	10	0	0
4	ひとりひとりの主体性を大切にされた保育教育をしている	70	25	5	0	0
5	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している	70	30	0	0	0

2.保育教育計画・指導計画		4	3	2	1	0
1	保育教育方針のねらい及び内容が達成できるような全体的計画や保育教育計画を立てている	70	25	0	0	0
2	保育教育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画、月案、週案を立てている	95	0	5	0	0
3	3歳未満児は、現在の姿を理解し、見通しを持ってひとりひとりに応じた保育教育計画を立てている	75	20	5	0	0
4	配慮の必要な子どもには、その子に応じたの計画を立てている	80	20	0	0	0

3.食育		4	3	2	1	0
1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている	80	10	10	0	0
2	栄養士・保育者等が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるように努めている	75	20	5	0	0
3	できるだけ、地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている	80	20	0	0	0
4	おやつは手作り（週4日程度）をしている	100	0	0	0	0

4.職員構成・役割分担・研修		4	3	2	1	0
1	職員の仕事や役割が明確であり、連携をとって円滑な園運営ができている	35	60	5	0	0
2	危機管理能力を持ち、緊急時に対応できる体制ができている	50	45	5	0	0
3	職員が各専門分野に所属し、園の保育教育や内容を深めるために、それぞれが活発に活動している	65	30	5	0	0
4	園内研修と園外研修の計画を立て、実行している	75	20	5	0	0
5	施設設備や遊具等の安全点検を行っている	60	40	0	0	0

5.保護者支援		4	3	2	1	0
1	保護者と良好な関係を作ろうとしている	75	20	5	0	0
2	園や保育教育内容や子どもの姿がわかる発信をしている	70	30	0	0	0
3	保護者の状況を理解し、個人情報への漏洩に気を付けている	90	10	0	0	0
4	子育てのパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している	70	25	5	0	0

6.子育て支援		4	3	2	1	0
1	地域に開かれた園として、日々の子育てをしている親子を受け入れている	70	20	10	0	0
2	地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている	70	20	10	0	0
3	子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている	70	25	5	0	0
4	園生活の子どもの様子を地域にも発信している	70	30	0	0	0

7.小学校や地域との連携		4	3	2	1	0
1	定期的に小学校と交流を行っている	55	40	5	0	0
2	定期的に小学校やこども園との会議や職員交流を行っている	45	50	5	0	0
3	高齢者施設や地域との交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てている	50	25	10	5	10

保育者の自己評価

自分自身の評価です。

1.保育教育計画		4	3	2	1	0
1	園の保育教育方針を理解して、保育教育計画を立てている	80	20	0	0	0
2	園の保育教育目標を理解して、クラスの年間保育教育目標を立てている	75	25	0	0	0

2.保育教育実践		4	3	2	1	0
1	園の方針を理解して、実践に努めている	65	30	5	0	0
2	年間保育教育目標を意識して保育教育に取り組んでいる	50	40	10	0	0

3.環境作り		4	3	2	1	0
1	子どもの発達を促すための環境作りを心掛けている	55	45	0	0	0
2	常に遊具や教具の安全確認を行い、定期的に洗浄・消毒をしている	90	10	0	0	0
3	子どもの姿を見ながら、臨機応変に計画的に環境作りを行っている	65	25	10	0	0
4	保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い部屋作りを心掛けている	45	50	5	0	0
5	四季の変化に応じた環境構成をしている	60	40	0	0	0
6	異年齢の子どもが自然に交流できるような環境構成をしている	30	40	30	0	0

## 4.子どもへのかかわり

	4	3	2	1	0
1 朝の視診を大切にし、子どもに応じた保育内容を考慮している	75	25	0	0	0
2 事故やケガが発生した時は、マニュアルに従った行動ができる	50	45	5	0	0
3 体調が悪いときには、静かに寝かせ検温をして家庭に連絡している	75	25	0	0	0
4 ひとりひとりの思いを受け止め、その思いをできるだけ実現させようと努めている	70	30	0	0	0
5 ひとりひとりの子どもの目標と課題を明確にし、見通しをもってかかわっている	60	30	10	0	0
6 子どもの理解のために保護者と話し合うことができる	60	30	10	0	0
7 子どもの姿を、家庭での生活を踏まえて理解している	60	20	20	0	0
8 他児と比較をしない保育をしている	65	30	5	0	0
9 子どもの目線に立ち、共感しながら一緒に遊ぶことができる	70	30	0	0	0
10 正しい日本語の用法を心掛けている（流行的言葉を使わない）	45	50	5	0	0
11 子どもの話をよく聞いている	70	30	0	0	0
12 子どもひとりひとりの良さを認めている	75	25	0	0	0
13 子どもの心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、関わり方をしないように心掛けている	80	20	0	0	0
14 子どもを誉めたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉かけをしている	80	15	5	0	0
15 禁止・命令・行動を急がせたり、自信を失わせるような言葉かけや態度は意識して控えている（感情的にならず穏やかに接している）	50	45	5	0	0
16 子どもの個性や性格、特徴に応じた関わり方をしている	60	30	10	0	0

5.保護者対応		4	3	2	1	0
1	保護者に対して、丁寧な言葉使いと気持ちの良い対応を心掛けている	70	25	5	0	0
2	送迎時に子どもの姿を必ずわかりやすく伝えて、保護者との信頼関係を作るよう努めている	40	35	25	0	0
3	場合によっては個別に保育の様子や子どもの様子を見てもらったり、伝えたりして、保護者と話し合いの場を設けている	50	35	15	0	0
4	保護者からの様々な要望、訴え、意見について安易に受けたり、断ったり、無視したりしないで、園長や課長、主幹に相談している	80	20	0	0	0
5	保護者からのクレームがあった場合には、まず謙虚にその話を聞き、園長や課長に報告、相談している	95	5	0	0	0
6	保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え連携をとっている	70	25	5	0	0
7	支援センターに来ている保護者や子どもや見学者に自分から気持ちの良い挨拶をしている	80	15	5	0	0

6.組織の一員として		4	3	2	1	0
1	職員全員でひとつのチームであることを意識している	80	15	5	0	0
2	自分の意見と異なることであっても議論上決定したことは、協力し実行している	80	10	10	0	0
3	会議の内容をしっかりと把握し、自分の意見をもって参加している	65	30	5	0	0
4	報告、連絡、相談を意識して実践できる	70	25	5	0	0
5	職員全員と親しく付き合い、偏った人間関係を作っていない	45	50	5	0	0
6	上司の指示、命令には責任をもって実行している	60	40	0	0	0
7	職員のプライバシーについて、他に漏らすことはない	90	10	0	0	0
8	園に関することについてみだりに、また不正確なまま他へ話したりしていない	90	10	0	0	0

7.保育者同士の協力		4	3	2	1	0
1	クラスに関係なく、その場にいた子どもへ適切な言葉かけや対応ができる	60	40	0	0	0
2	子どものことについて常に保育者同士で話し合い、クラスを超えて情報を共有している	55	45	5	0	0
3	保育者全員がすべての子どもについてある程度理解している	30	55	15	0	0
4	配慮を必要としている子どもについては、園の職員全体で話し合い、共通理解をもって対応している	55	40	5	0	0
5	職員同士協力し合い、園の方針に沿った業務ができる	55	40	5	0	0

8.専門職としての能力		4	3	2	1	0
1	保育教諭、看護師、栄養士など専門知識や技術を身に付けている	60	30	0	0	0
2	部屋の掲示物については子どもの個人情報貼らないように意識している	75	20	0	0	0
3	仕事の手順をよく考え、能率よく行っている	30	60	0	0	0
4	業務以外でもプロとしての誇りと自覚をもって言動を心掛けている	65	25	0	0	0
5	公私混同していない	45	55	0	0	0
6	服装・髪形・身だしなみなど清潔感のあるものを心掛けている	85	15	0	0	0
7	自分の健康管理を常に心がけている	85	15	5	0	0
8	園の書類等は持ち帰っていない	80	15	0	0	0
9	職務上知り得たプライバシーに関する情報は意識して口外しないようにしている	90	5	0	0	0
10	教材、教具の管理、点検に気を使い、補充が必要な場合には報告をしている	80	15	0	0	0
11	地域や社会情勢にも興味がある	60	40	0	0	0
12	自然に対する感性を持ち、命の尊さを意識している	85	15	0	0	0
13	小学校の教育について関心を持ち、理解しようとしている	40	50	10	0	0
15	地域開放や子育て支援について具体的な形や内容を理解している	45	45	10	0	0

## 9.食育

		4	3	2	1	0
1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている	60	40	0	0	0
2	栄養士・保育者等が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるように努めている	80	20	0	0	0
3	できるだけ、地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている	80	20	0	0	0
4	おやつは手作り（週4日程度）をしている	100	0	0	0	0
5	いろいろな味に親しみ、喜んで食事ができるようにしている	75	25	0	0	0
6	楽しい食事を意識し、嫌いな食べ物は無理強いしないように心掛ける	75	25	0	0	0
7	食材に興味を持ち、名前を覚えるような声掛けをしている	65	30	5	0	0
8	食事のマナーを知り、守って楽しく食事ができる環境を整えている	55	40	5	0	0
9	野菜を育てる過程を楽しみ、収穫の喜びを味わい達成感を得るような配慮をしている	65	30	5	0	0

## 10.研修、自己研鑽

	4	3	2	1	0
1 研修会には自己課題をもって進んで参加している	55	40	5	0	0
2 専門書や専門雑誌を進んで読んでいる	30	40	25	5	0
3 自分の業務（保育）に自己課題をもって計画と反省を行っている	65	25	10	0	0
4 自分の業務（保育）の悩みについて、他の職員や課長、主幹、園長と話し合っている	45	45	10	0	0
5 保護者への対応について研修、研究をしている	40	40	20	0	0
6 子どもへの関わり方について研修、研究している	40	50	10	0	0
7 計画作成、記録の取り方、考察のあり方について研修、研究をしている	30	45	20	0	0
8 自分の得意な分野を確立するための研修、研究をしている	40	50	10	0	0
9 職員同士の協力、連携のあり方について研修、研究をしている	40	50	10	0	0
10 良識・常識・義務・マナーなどの関する研修、研究をしている	50	45	5	0	0
11 園の遊具、運動用具についてその特徴や基本的な使い方を知っている	20	45	5	0	0
12 園の教材について利用法を知っている	50	70	10	0	0
13 子どもが遊具や教材をどんな使い方をするのか予測が立てられる	60	45	5	0	0
14 アレルギーや配慮の必要な子どもへの関わり方について理解している	65	30	5	0	0
15 障害のある子どもに対する関わり方について研修している	40	35	25	0	0
16 危機管理について、現状やあり方について研修している	45	40	15	0	0
17 人権擁護、虐待について知識を持ち理解している	65	30	5	0	0
18 幼保小連携についてその意義やあり方について理解している	40	50	10	0	0

総合 (%)	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>0</b>
	64	31	5	0	0

評価基準	4点：複雑な場面でも独力で遂行でき、高度に信頼を得た、全体的に出来る、全体的に理解している、全部参加した
	3点：複雑な場面でも独力で遂行でき、かなり信頼を得た、3/4出来る、3/4理解している、ほとんど参加した
	2点：複雑な場面でも独力で遂行でき、信頼を得た、1/2出来る、1/2理解している、半分参加した
	1点：標準な場面において独力で遂行できた、少しはできる、少しは理解している、少し参加した
	0点：標準な場面において助言・指導が無いと出来ない、理解できていない、参加しなかった